

暮らし交わる橋本市

Lifestyle 4 橋本市高野口町壁巖谷

Lifestyle 2 橋本市東家

橋本市は和歌山県のはしっこ、奈良県と大阪府に隣接する町。町でもあり田舎でもあり、様々な環境が交じり合う。

暮らしの選択肢が幅広いここでは、

住む人それぞれの暮らしの

かたちがあります。

四人の住人の体験を通して、橋本での暮らしを

イメージしてみてください。



和歌山

Lifestyle 1 橋本市清水

Lifestyle 3 橋本市高野口町田原

暮らし交わる橋本市

橋本市は和歌山県のはしっこ、奈良県と大阪府に隣接する人口約六万人の町です。世界遺産・高野山の麓にあり、古来より高野街道と伊勢（大和）街道が交差する要衝として賑わってきました。また、町の中央に流れる紀の川の水運により、かつては材木運搬や高野山宿場町として栄え、人・モノ・文化が交わることで、多様な価値観、豊かな生活文化が育まれてきました。

歴史ある山々に囲まれ、今もなお季節ごとの美しい景色が見られるなか、町屋や古民家での田舎暮らしや、地の利をいかした都市型な暮らし、さらには二地域居住など、ここには住む人それぞれの暮らしのかたちがあります。様々な環境が交じり合い、暮らしの選択肢が幅広い橋本市だからこそ、住む人の価値観に応じて暮らしの在り方を自分たちの手で作ることができます。それは、趣向に応じて暮らしを選択・構成する「編集」作業とも言えるでしょう。

そんな橋本市に住む四人を取り上げ、「暮らし編集人」として紹介します。働き方や住む場所、家族構成などは実に様々ですが、それぞれの暮らしに個性があります。あなたはどんな暮らしをイメージしますか。

データで見る橋本市

人口	62,576人（令和元年12月末現在）
面積	総面積 130.55㎢ 森林面積 72.58㎢ 耕地面積 15.2㎢
気候	平均気温 16.2℃ 降水量 1800mm
天気日数	快晴22 晴 148 曇 149 雨 45 雪 1（平成50年実績）
公園	56ヶ所 1人あたり 16.14㎡
待機児童	0人（令和元年10月現在）
子ども医療費	0円（中学校卒業まで・所得制限あり）
保育園こども園	保育園 7件 こども園 8件 幼稚園 5件
子育て支援センター	7件
医療機関	病院・診療所 約 100件 救急指定病院 5件
動物病院	6件
農産品販売	産直市場 5店舗 直売所 多数
鉄道	JR和歌山線 5駅 南海高野線 6駅
『産産・子育てしやすい街』関西圏ランキング2位（週刊東洋経済2015年8月掲載より）	



大阪、奈良、
和歌山の文化が
交わる場所

A Lifestyle for Everyone

暮らし編集人

今回は橋本市に移住して間もない人と、現地で生まれ育った地元民をピックアップ。それぞれ個性的な橋本暮らしをご紹介します。



橋本市清水

和歌山生まれ→大阪から橋本へ移住

デトワイラー唯さん

偶然高速から見えた町の景色が印象に残ったことがきっかけで橋本市に興味を持ち、運命的に移住を決意した唯さん。都会の生活からいっぺん、紀の川のそばで壮大な山々に囲まれながら心穏やかに暮らしています。最近は子どもにも恵まれ、より家族の絆を深めながら子育てを楽しむ毎日です。



橋本市東家

奈良生まれ→神奈川から橋本へ移住

大柳友洋さん

お子さんの小学校入学を機に家族で橋本市に移住した大柳さん。豊かな自然の中で、山や川で遊んだり、田植え、稲刈り、庭先でのバーベキューなどこれまで都会ではできなかった体験ができるのが魅力と話します。平日は大阪まで通勤、休日はほどよい町と田舎暮らしの両立を楽しんでいます。



橋本市高野口町田原

橋本生まれ→神戸の大学を経てUターン

平田麻里さん

人の温かさいっぱい橋本市が大好きな地元民、平田さん。一度は県外の大学に出たものの、小学生の頃から続けていたガールスカウトなど人とのつながりを大切にしたいと働きたいと考え、橋本市に就職しました。これからは、まちの自然の豊かさを生かした、人が集まるあたたかい場づくりがしたいと模索中です。



橋本市高野口町嵯峨谷

和歌山生まれ→東京から橋本へ移住

裕勇さん

橋本市の中でも山深い村でデザインや本作りをして暮らしている裕さん。築100年以上の古民家で、日々移り変わる日常の景色からインスピレーションをうけることも多いのだとか。裏山に自生している楮を使った紙すきや柿渋づくりなど、身近な素材を利用したものづくりにも挑戦しています。

自分たちのペースで。 ほどよい「田舎」が心地よい。

橋本市清水在住
デトワイラー唯さん



ほどよく田舎なのに、都心へのアクセスはバッチリ。
安心して子育てできる静かな環境。
そして、「自分たちのペースでいいんだ」と思わせてくれるこの感じ。
田舎ならではの、虫の多さもご愛嬌！
私たちが欲しかったものが、ここにはぜんぶありました。



春は近所でお花見を。私たちが住んでいる場所の、100年前から変わっていないささやかな風景が好きです。



窓を開ければいつでも綺麗な夕焼けが見られるのも、田舎暮らしの醍醐味。



夏に、近所の神社のお祭りへ。紀の川の夕焼けをバックに盆踊り、住民の粋を感じました。



畑を借りて家庭菜園。梅雨明けには夏野菜がどっさり！自分たちで作ったものを食べて暮らすという夢が、ひとつ叶いました。



市主催のママパパ教室にて。妊娠期に必要な栄養素のことや赤ちゃんの沐浴方法など、毎回ていねいに指導いただき、少しずつ親になる実感が。同級生になる子たちの親御さん方とも知り合える良い機会でした。



寒い日はおうちで本を読んだり、晴れた日はお散歩したり。都会だとなかなかこんなにゆったりとは過ごせませんでした。今は家族の時間をたっぷり楽しんでいます。

人、まち、自然、食べ物、 楽しみいろいろ。

橋本市東家在住
大柳友洋 さん



橋本には山、川、田畑ありでいろんな体験ができます。
季節ごとの地元でとれたおいしい野菜や果物もたくさん。
引っ越して地元の人、移住者とのつながりを増やしなから、
大阪での仕事と橋本での田舎暮らしの両方を楽しんでいます。



勤務地の大阪までは約1時間。通勤に少し時間はかかりますが、始発なので必ず座れます。往復2時間は本を読んだり、パソコンで調べものをしてしりながら過ごしています。



自然農の田んぼで稲刈りのお手伝い。いただいたコンテナ
いっぱい柿で干し柿をつくったり手作りも楽しみのひとつです。
つくしにふきのとう、桑の実、冬イチゴなど季節ごとの野山の恵みもたくさんあります。



妻は森の幼稚園を立ち上げる活動の手伝いを始めました。今は週に一回、森でおさんぽ会をしています。子どもたちの遊びが広がっていく様子を見ているだけで楽しいそうです。



畑を借りて自家菜園。まだまだ収穫は少ないですが、ピクニックがてら楽しんでいます。食べたかぼちゃの種を撒いたら、いろんな種類を収穫することができました。



ラーメン、洋食などいろんなおいしいお店もあります。
お気に入りはやっちゃん広場の食堂のからあげ定食。



橋本市は自然が豊か。子どもたちは野山、川で遊ぶことも多いです。
見たこともなかった生きものと出会うこともあります。

季節の恵みいっぱい、 人がつながるまち。

高野口町田原在住
平田麻里さん



橋本市で生まれ育った目線でのまち案内。
お仕事を通じて、まちの良さにどんどん気づきます。
人とのつながり、自然いっぱい、安全なまち。
とてもリッチな環境で過ごしていると実感します。



山々などの自然と生き物から季節を感じられるのが橋本の魅力。一番好きな柿の季節は、若葉のころ。春は山菜、夏は虫などその季節にしか楽しめない恵みがたくさんあります。



友人が来たときは、餅つき、スイカ割、石窯ピザパーティなどにぎやかに過ごします。



スイス人の弟が作ったスイスパン「ツォップフ」、その弟の弟が作った伝統じゃがいも料理「ロスティ」。私はすき焼きで対抗。(笑)



小さいころからのお盆の風景。田舎の方では昔からの風習が残っています。



移住者交流として柿ヒザづくりを企画！この紙面に登場する3人の移住者の初顔合わせとなりました。



友だちに來てもらって大量の餅作り。イベントがあれば、そこには餅まきがあります。



豊かな食も橋本ならでは！地元の産品でお弁当を作れないか画策中です。



市内まち案内で、ぐるり。世界遺産の「黒河道」、江戸時代からの旧家「前田邸」など歴史的な見どころもたくさん。

案内中、ショールームで見つけたかわいいティペット♡高野口はパイル織物やエコファーの産地でもあります。

自然の中で遊び、暮らし、つくる日々。

高野口町嵯峨谷在住
裕 勇 さん



橋本に生活拠点を移してから、よく「遊ぶ」ようになりました。
何かをつくってみたり、面白い形や色を探して周りを観察したり。
気がつくと、デザインの仕事での引き出しも増え、
遊びと暮らしと仕事繋がったような感覚がありました。



お隣さんにいただいた、
つきたてのお餅。息子
は欲張って両手持ち。



家の裏には椎茸の原木が。
塩をふって網で焼くだけで
贅沢なご馳走に！

自然にはおもちゃがいっぱい。年に一度は雪
だるまが作れるくらいの雪も降ります。



ご近所さんが、畑から出て
きたカブトムシの幼虫を
持ってきてくれました。そ
の数なんと20匹超。もは
やプリーター状態でした。



別のご近所さんが集めてきてくれた廃材
で創作活動。大人も夢中で遊んでしま
いました。



野菜は畑で収穫、そのまま食卓へ。
水は山の湧き水を汲ませてもらっています。



妻は本格的にイラスト活動をスタート。
村の人に話を聞いて絵地図を作り、
フリーペーパーとして村から発刊しました。

「無いものは作る」の精神で、棚、ガラス戸など工作
にもチャレンジ。慣れない作業でよく生傷をつくっ
ています。(笑)



適果した柿で柿渋づくり、山に
自生している栲(こうぞ)で紙す
きなど、子どもに負けじと遊ん
でいます。



季節や天気によって見える景色が
一変するのが橋本の魅力。ほーっ
と外を観察してデザインのア
イデアが閃くこともしばしば。



橋本市移住応援サイト

はしっこ暮らし

その他の先輩移住者インタビュー、仕事や子育て、
住まいのことなど、移住に役立つ情報をご紹介します。

www.city.hashimoto.lg.jp/hashikkogurashi/

橋本暮らしについて、お気軽にお問い合わせください。

tel. 0736-33-6106

chiikisn@city.hashimoto.lg.jp

和歌山県橋本市東家一丁目1番1号

橋本市経済推進部シティセールス推進課